

2020年度(秋学期)～2021年度(春学期)

特別講座「古典絵画」 受講生作品展

— 四季を描く～金箋紙・銀箋紙

2022.3.22[火]—9.30[金]

中部大学民族資料博物館

※9/28(水)10:30より会場で指導講師による講評会を行います [指導講師:下川 辰彦(日本美術院特待)]



デザイン参考: 俄屋宗達(伝)(色紙)本阿弥光悦(筆)

《色紙貼付桜山吹図屏風》江戸時代,東京国立博物館蔵

<https://webarchives.inm.jp> (東京国立博物館 研究情報アーカイブス)

※本展への出品作品ではありませんのでご了承ください

※新型コロナウイルス感染症の拡大を注視しながら開催方法を検討いたします。

最新情報はHPにてご確認ください。



中部大学

2021・2022 中部大学民族資料博物館企画

特別講座 [古典絵画]

入場無料

2020年度(秋学期)～2021年度(春学期)受講生作品展

— 四季を描く～金箋紙・銀箋紙

3月22日(火)～9月30日(金)

民族資料博物館

*9月28日(水)10:30より、会場で指導講師による講評会を行います

[指導講師:下川 辰彦(日本美術院特待)]

中部大学民族資料博物館の「特別講座 [古典絵画]」は、

日本画の実技制作を通じて古典絵画の技法を学びながら、

現代作品の制作に活かす方法を考えるという学習目標を持つ連続講座です。

大学博物館より地域の皆様へ生涯学習の場を提案する試みを継続して行っています。

2020年度(秋)～2021年度(春)の課題は、色紙掛けの軸に飾る色紙の制作。

金銀の地色の色紙に四季を想定して四枚一式の作品制作に取り組みました。

小品ながら、四種の場面をどのように組み合わせて世界を作り出すか、

という構想の難しさに挑戦しました。活動成果を展示において報告いたします。

それぞれの作品と表装が織りなす小宇宙の美しさをぜひご覧ください。



公共交通機関のご利用にご協力ください。JR中央本線 神領駅下車 名鉄バス約10分